

平成25年 2月 4日(月) 発行



高 大 附 高 だ よ り

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



Winter Festival



第71号
2013□ 2

(写真提供) 森本純生校長

挨拶



父母の会会長 下川 強

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平成二十四年度の行事も、会員皆様のご協力をいただき、ここまですべて無事進めていくことができました。心より感謝申し上げます。

昨年も各分野で本校生徒たちの活躍が聞こえてきました。

部活動の大会や発表会では、眩しいほどに輝く、その生き生きとした表情を見ることができました。また、十月に行われた文化祭では高校生活を心から楽しんでいる様子を見ることができ、保護者の一人として、喜ばしい思いでいっぱい입니다。

そんな楽しい高校生活も、三年生にとりましては、残りわずかとなりまりました。商大附高で学んだこと、経験したことを、この先に続

く人生の糧として、成長し続けて欲しいと思います。

また、二年生、一年生につきましても、勉強や部活動に励み、悔いのない高校生活を送ってほしいと思います。

人間は最終的に頼りにできるのは自分自身以外にはありません。そして人間はそれぞれ素晴らしい能力や可能性を持っています。自分自身の能力、可能性を信じて、何事にも挑戦し続けてほしいと思います。

新しい年の始まりとともに、今年度の行事も残りわずかになってまいりました。長いと思っていた一年という会長の任期も終わろうとしています。本部役員・会員の皆様には、私の力不足を詫びるとともに、残りの行事でのご協力をお願いいたします。

結びに、本年も皆様にとりまして、幸多き年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

御挨拶



理事長・校長 森 本 純 生

平成二十五年を迎えました。昨年は父母の会・部活動後援会の皆様には学校に對しまして絶大なご理解とご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。十月の学園祭（ホームカミングデー）では校舎

建築工事中の為、規模を縮小しての開催でしたが、父母の会・後援

会・同窓会の皆様に積極的に参加を頂いて、お陰様で本校らしい生徒と卒業生の思い出に残る学園祭になりました。後日、他校の父母

からメールが届き、和気藹々とした雰囲気の良い学園祭で、保護者も参加しているのは他校で

は見られないこととお褒めを頂きました。十二月には恒例のウィンターフェスティバルが開催され、

華やかな演奏と演技が繰り広げられましたが、生徒会を中心とする各部の協力の下に、企画・進行・挨拶などが行われ生徒の自主性の

伸びが何われました。学校は三期に入りましたが生徒達も充実した高校生活を送ることができ、勉強面でも部活動に於いても頑張っております。三年生の進学も推薦・AO入試の終わったところで、昨年を上回る実績を上げており、部活動でも運動部も文化部も関東大会・全国大会への出場が決まり先日、壮行会を行った所です。

今年には例年になく厳しい寒さの冬になりました。今まで好まなかつた分厚い生地の背広が有り難く感じるのは私の年令のせいかもしれませんが、皆様どうぞご自愛下さい。

昨年末の慌ただしい中の衆議院選挙も終わり、新政権が誕生いたしました。新年を迎え巳年になりましたが、蛇は脱皮を繰り返して成長することから「復活・再生」を意味すると言われ、生に安倍第二次政権のスタートに相応しい年になったと、期待をしております。決して「蛇行」することなく日本を□いてほしいものです。

本部署員挨拶

「今年をふり返って」

副会長 高瀬英雄

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様のご協力の下、父会の総会、学年学級懇談会から始まった平成二十四年度でしたが、その行事もほぼ終わりに近づいて参りました。参加させていただきました行事では、皆様方には大変お世話になりました。

息子の高校入学と同時に始まった私の父会の本部署員の三年間も、卒業間近になりました。

特に部活動を熱心にやり通した息子の姿を見るたび、全面的にバックアップをしてくださった学校と、校長先生はじめ諸先生方、指導者の先生方、お友達など、周りの環境と皆様に心から感謝の気持ちでいっぱいになります。

私自身も、役員の活動、部活動の後援会の活動の中で、たくさん

勉強させていただき、楽しい時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

最後になりましたが、今年度卒業生達の希望に満ちた未来と、商大附高の益々の発展、そして皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

副会長 今井敏博

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新しい年を穏やかに迎えられることと存じます。昨年被災地を訪れましたが、まだまだ爪跡が残る復興にはかなりの時間を要する様子でしたが、そこに暮らす人達は元気に頑張っておられました。

頭が下がる思いで一杯でした。経済も低迷する中、私達に勇氣と希望を与えてくれたのがオリンピックでの日本選手の活躍ではなかつたでしょうか。生徒の皆さんもその活躍に心おどらされ勇氣と希望をもらったことと思います。

二年生の皆さんは、これから学校生活の最高の思い出づくりになる修学旅行があります。商大附高生としての誇りを持って節度ある態度で望んでほしいと思います。

私達父母会役員も生徒皆さんの健康やかな成長を願い見守っていきたいと思っております。これから最上級生になり商大附を引っぱって行く立場になる皆さんへ、もう一度自分自身を振り返りしっかりとした目標を立て最後の高校生活を送ってください。結びに、会員の皆さんの益々のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

副会長 吉原秀忠

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては穏やかに新年を迎えられたことと存じます。

平成二十四年度も残り少なくなつて参りました。私は昨年より父会の様な行事に参加させていただきました。会員の皆様と共に子どもたちが充実した学校生活を送れるよう微力ながらお手伝いさせていただきますました。

方々と知り合うことができ、私自身も勉強させていただきました。さらに本校の教育に関して校長先生を中心とした教職員の皆様熱意にも共感いたしているところで

ございます。

生徒の皆様は自分の目標に向かって学校生活を送られているでしょうか。今、世の中の情勢が悪く皆様を取り巻く社会の環境も決して良いとは言えませんが、目標を見失うことなくこれからも強い意志を持ち邁進していただきたいと思います。

結びに、商大附高の発展と皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

書記 石綿綾子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。不安に思いながらも、お受けした役員も三年目になり、今年度も商大附高祭や学校見学会などの行事に楽しく参加させて頂きました。出合えて良かったと思える先生や友人ができ、この学校に入學して良かったと言う娘と同様、役員にならなければ、言葉を交わすことも、すれ違ふことさえも無かつたであろう先生方や役員の方々に会ったことが出来て良かったと改めて思った一年でした。

子ども達も、これから先、時には、苦手な人と関わり□い思いを

することもあるでしょうが、そこから何かを学び成長していける人になってほしいと思います。最後に皆様のご健康と、幸せな一年となります様、お祈り申し上げます。

書記 五十嵐栄子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

娘の入学と同時に引き受けた役員も、二年が経とうとしています。

今夏、娘は海外研修に参加させて頂きました。本人より不安な私でしたが、担当の代田先生や深澤先生のご配慮のお陰で、不安が安心に変わりました。異文化に触れ貴重な経験をし、元気で笑顔で帰って来た時には参加させて良かったと思います。

子どもの事を考え、親の気持ちに寄り添って下さる先生方、そしてお友達に恵まれ、楽しい学校生活を送れています事に本当に感謝しております。

私自身も役員として、皆様にご指導をいただきながら出来るだけ参加させていただきました。たくさんの方々とお会い、楽しい時間

を過ごす事が出来ました。残り僅かですが、最後まで皆様と楽しんで過ごしたいと思います。

最後になりましたが、商大附高の発展と、皆様の幸せをお祈り申し上げます。

会計 山口かおる

子どもがお世話になるのだから何かのお役になればと思ってお受けした本部役員でしたが、過ぎてみれば楽しく充実した三年間でした。

今年度は商大附高祭もあり、本部役員は例年通り「カフェ」をさせて頂く事になり、とてもスリルのある二日間でした。役員の皆様方とも日を追うごとに心打ち解けて、十一月の研修旅行では丸一日、修学旅行気分ですごす事が出来ました。

私事ですが、娘が「ペッパー」部で全国大会へ行きたい!」との思いでこの学校に入り、今年は見事にその夢を果たす事が出来ました。これも先生の熱心なご指導のお陰です。本当に有難うございました。最高の仲間と最高の舞台に立って喜びは、親としても一生忘れる事はありません。最後に商

大附高の益々のご発展をお祈りしご挨拶とさせていただきます。

会計 高橋一弘

謹んで新春のお慶びを申し上げます。会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと存じます。

早いもので、娘が入学し本部役員をお引き受けしてから二年が経とうとしています。これまで本部役員として様々な行事に参加させて頂きましたが、校長先生はじめ

諸先生方の生徒に対する熱い思いに驚きと同時に感謝の言葉しかありません。私自身も商大附高祭はじめ役員活動の中で多くの皆様と出逢い、そして多くの学びを得ております。

世の中を取り巻く環境は、ますます厳しくなっておりますが、素晴らしい商大附高という教育環境の中で、人として大きく成長してくれることを期待しております。

最後になりましたが、商大附高のますますの発展と皆様の御健康をお祈り申し上げます。

三年生保護者より

旅立つ我が子へのメッセージ



旅立つ我が子へ

工藤登紀子

「これからの三年間をどう過ごすかが大事。」三年前の合格発表の日、泣いているあなたにそう話しましたね。覚えていますか?

学校に通い始めた頃、「楽しいことなんか何一つない。」とあなたから聞いた時、果たして三年間

通い続けることができるのか、本当に心配でした。ところが、気付けば皆勤、良き友に恵まれながら、部活動に勉強にと真剣に取り組む姿がありました。「私はこの学校でよかった」とあなたから聞いた時は本当に嬉しかったです。

入学説明会で、先生が「第一志望でない人もいるでしょうが、絶対に損はさせません。」と力強く言い

切ってくれたことは本当でした。
これからも友を大事に、また、お世話になった先生方への感謝の気持ちをお忘れずにして下さい。

卒業おめでとう。

旅立つ我が子へ

原 裕子

月日が経つのは早いもので、緊張と不安で足を運び入学式を迎えたのが昨日の事のように思います。

校長先生の話や担任の先生の紹介印象強く今だに娘と思ひ出しています。先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。ご指導のおかげで目標達成ができて嬉しいです。クラスの友達にも恵まれ、一年生からお世話になって、高校生活の良い思い出ができた事でしょう。本人の努力も素晴らしいが、みんなに支えられて生活できたことをばねにして、これからも今の気持ちをお忘れずに頑張っていきたいですね。目標に向い新たな一歩を踏みだしていく、辛い事も楽しい事もあると思いますが、前向きに考えて、自信を持ち乗り越えて行けると信じています。

親子共々お世話になった先生方

や友達に感謝や感動をお忘れずにして下さい。これからも応援してきます。ありがとうございます。

旅立つ我が子への

メッセージ

大野浩志

「子どもの成長」親としては、

安心する気持ちと少し寂しくなる気持ちですが、一つの区切りでもある高校生活も、残りわずかとなりましたね。小学生からバレーボールを始め、中学、そして更に「春高バレー」を目指して、商大附高に入学し、先生方のご指導、先輩方の力、仲間の協力で、その「夢」が実現でき、人生において大変貴重な経験をさせてもらったと思います。親としても、たくさん感動、喜びを共に共感出来た事を本当に感謝しています。この高校生活の三年間で学んだ知識や経験、そして部活動で身についた忍耐力や集中力、全てがこれから進む人生において「礎」になってくれると思います。そして何より、共に汗を流し、励まし合った仲間も「力」となってくれるでしょう。次なる「夢」へ向けて一歩一歩進

んで下さい。いつまでも応援しています。

最後になりましたが、三年間お世話になりました先生方、そして上和田先生、心より感謝申し上げます。誠に有り難うございました。

光陰矢のごとし

大谷 哲雄

月日の経つのは早いもので、卒業の時を迎えようとしています。

野球に明け暮れた三年間でした。日々の練習は、辛く苦しいことが多かったと思います。でも、お世話になった先生方、保護者の皆様、そして、友達に恵まれて支えられて、多くの感動をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。この感動と感謝をお忘れずに、自分の夢に向けて歩んでほしいと思います。新しい門出に向けてのエールを送りたい。「光陰矢のごとし」。月日が過ぎるのは非常に早い。だから無為に送るな。過ぎ去ってしまった月日は、二度と戻ってこない大切なものだから、「今」という時を大切にしてほしい。忍耐力・集中力を身につけ、精神力を高めた君だから、これからも逞しく生きてほしい。

卒業おめでとう。

旅立つ我が子へ

佐藤 正子

入学から三年が経ち、早いもので卒業を迎えようとしています。

この三年間で多くのことを学び成長することが出来たでしょう。楽しいことばかりだけではなかったかも知れませんが、涙を流し、挫折を味わい、苦しみや悲しみを経験しながら沢山の友と仲間に分けられ強さを身に付けることができたと思います。何事にも前向きに考えられるようになり、高校生活で学んだことは決してマイナスではなく、今後の大学生活へ生かせることでしょう。

大学に進むにあたり、自分で選んだ道だからこそ、正しい道や大きな壁にぶつかかることもあることでしよう。その時には今までの経験を生かし、友や仲間を大切にしてください。又、常に感謝の気持ちを忘れず頑張ってください。

最後に、三年間ご指導下さいました諸先生方ありがとうございます。

卒業おめでとう。

旅立つ我が子へ

金田 みどり

親子二代で商大附にお世話になりました。

当時の記憶と重ねつつ高校生活に胸を大きくはずませスタートさせたのが昨日の事の様に思い出されます。

小学校三年生から続けていたバスケットボールを継続する心配していましたが部活動を通じて新しい仲間も出来て、挫折する事なく最後までやり遂げられました。それは、ひとえに先生方を始め、友達、出合ったすべての人に支えられたからです。

来年度から社会に出て行く道を自分で決めなければいけません、不安で大変な事がいっぱいあると思います。商大附で学んだ三年間を糧に頑張つて下さい。応援しています。

最後になりますが、お世話になった諸先生方に感謝を申し上げます。卒業おめでとう。



旅立つ我が子へ

山木 恵子

楽しく過ごした高校生活が、もうすぐ終わろうとしていますね。

中学生の頃から、ずっと希望していた高崎商大附属高校に入学できて、ワクワク、ドキドキの学校生活が始まったのが、つい最近の様に思い出されます。

毎日の自転車通学、夏は暑く、冬には強い風に負けそうになり、なかなか自転車が進まない、愚痴を言いながらも、しっかりと自分の力でやりとげましたね。雨の日には、車で送迎もしましたが、それも母としては、良い思い出です。

たくさんのお友達や、良い先生方に恵まれ、楽しい学校生活となった事は、きっとこれからの人生で、大切な糧となることでしょう。

これから進んで行く道も、自分で考えて、ちゃんと決めましたね。

周りの人たちに感謝の気持ちを持たずに、自分を信じて進んでください。私たち両親は、どんな困難な時にも必ず、そばにいて応援していますよ。大きくなってくれ「ありがとう」。

巣立つてゆく娘へ

大川 千春

国際色豊かな、個性あふれる「国際情報科」で学んできた三年間は、本当に幸せに満ちた、充実した時間でした。

生徒達の目線に立って指導してくださった先生方と、心優しい、愉快な仲間にも恵まれて、勉強も頑張りながら、海外研修等の豊かな経験を積んでこれたことは、かけがえのない。あなたの財産です。

ペップアーツ部では、仲間と共に、厳しい練習を乗り越え、全国大会出場の夢も果たしましたね。素晴らしい舞台に、感動の涙が止まりませんでした。

今まで支えてくれた全ての方々の感謝の気持ちを忘れずに、部活動で培った強い精神力を持つて、これからも、チャレンジヤーであり続けてください。

旅立つ我が子へ

田中 信子

桜の花に迎えられて緊張していた入学当時から、自分の夢に向かって目標が決められるまで商大附高

でたくさんすばらしい先生方、お友達に囲まれて毎日笑顔で過ごすことが出来たと思います。笑顔で学校生活を話す姿にこちらまで

が楽しくなり、幸せな気持ちになりました。二年生の時から進学を考えだし欠席も減り勉強している姿に成長していく姿を感じました。その後はそれに向い頑張りました。そんな頑張っている姿に私達両親も成長させて頂けた様な気が致します。これからも笑顔で、辛い事があっても乗り越えてステキな女性に成長して下さい。いつも心から応援しています。

卒業おめでとうございます。

旅立つ我が娘へ

中島 美佳子

高校生活も残りわずかになりましたね。幼稚園から始まり、小学校・中学校・高校と長いようで短い学生生活が終わりますね。楽しく過ごせましたか？沢山の事を経験してきた事、周りの人に感謝し、いつまでも素直な心を忘れないで下さい。これからの人生、山あり谷あり、楽しいことばかりではな

いでしよう。辛い時は一人で抱え込まないで、周りに相談して下さい。必ず力になってくれる人が居るはず。そしてこれからは、周りの人を手助け出来る大人になつて下さい。

進路指導部より

どんなに大きくなり、歳を取っても親であり、子どもに変わりありません。いつまでも、見守っている事を忘れないでね。

最後に、諸先生方の良きご指導に感謝しお礼申し上げます。

【進学状況】

今年度の推薦入試で国公立の合格者は十四名で過去最多となった。筑波大学は二年連続推薦入試で合格し、群馬大学四名、高崎経済大学五名の合格である。合格したどの生徒も努力の成果が結果に繋がっている。昨年の卒業生は最終的に二十二名の合格で目標の二十名を超えた。今年度の卒業生もさらに合格者の数を増やしてくれるものと、期待している。

現在、社会が求めている人材は三つの力を求められている。第一に「前に踏み出す力」である。失敗しても粘り強く取り組む力である。第二は「考え抜く力」である。課題を発見し、計画的に分析して考察する力である。第三は「チームで働く力」である。多様な人々

と共に目標に向けて協力する力である。コミュニケーション力を高めることが求められている。

生徒諸君には何のために進学するのかを考えてもらいたい。学ぶことは社会に出る準備でもある。自分の能力を客観的に捉え、どの能力を伸ばすために学習するのかを明確にして欲しい。目標を持っている自分を肯定的に評価して欲しい。早い段階で、合格したい学校を決め、合格するために努力して欲しい。

国公立大学のセンター試験は五教科七科目の流れが定着し、広範な基礎学力を確認している。マークテストのセンターは、出題者の意図に沿って流れるように解答していくことが必要である。国公立大学二次試験や私立大学の一般入試では、基礎学力と共に分析力や

論理性、応用力を見るために、それぞれの大学が特色のある入試問題を作成している。差の付く問題で手応えがあれば合格に近づく。

学習活動を支える基本は、言語教育にある。その教科は、国語・数学・英語という教科となる。教科書のほとんどは日本語で書いてある。国語は読むことの基本として最も要である。本を読むこと、新聞を読むこと、様々な資料を読むことが能力を飛躍的に向上させることとは間違いない。数学は論理的思考を育て、抽象化された概念を体系的に理解する能力を育む。数学がなければ、科学技術の進歩もなかったと言える。国際化の時代にあつて、英語が使えらることは、あたりまえのこととして要求される。英語における読み書きと共にコミュニケーション能力も要視されている。大学の入試科目では国数英の三教科が視されている。

科学技術や社会現象の理解のためには理科や地歴・公民の教科がある。実学的な教科として情報や商業があり、家庭・体育・芸術という教科は、生活・健康や豊かな人間性を育む。

進路実現には入試科目の学習が視される。しかし、バランスのとれた人格形成には総合的な学力が必要となる。すべての教科・科目に対して前向きに取り組み、さらに、入試科目で合格点を取る。高校三年間という限られた時間内で身につける必要のある内容がどれ程多いかを認識し、努力をしていただきたい。広い視野での学習が希望する進路を実現し、複雑な競争社会でも豊かな人生を約束するものと思われる。

「努力は人を裏切らない」
最大限の努力をして欲しい。

▼主な合格大学

- 筑波大学 (1) 群馬大学 (4)
- 茨城大学 (1) 福島大学 (1)
- 群馬県立県民健康科学大学 (1)
- 群馬県立女子大学 (1) 高崎経済大学 (5) 東洋大学 (3) 駒澤大学 (2) 専修大学 (1) 関東学院大学 (1) 神奈川大学 (2) 横浜薬科大学 (1) 千葉工業大学 (1) 東京電機大学 (1) 帝京大学 (4) 東海大学 (1) 立正大学 (1) 城西大学 (3) 国士大学 (1) 大正大 (3) 学習院女子大学 (1)

平成 24 年度 父母の会学年懇談会 進学関係資料

- (1) 平成 23 年度 大学 265 名 (国公立 22 名) 合格
- 平成 22 年度 大学 267 名 (国公立 12 名) 合格
- 平成 21 年度 大学 197 名 (国公立 10 名) 合格
- 平成 20 年度 大学 200 名 (国公立 9 名) 合格
- 平成 19 年度 大学 218 名 (国公立 17 名) 合格

(2) 在校生の進学希望調査 (平成 24 年 4 月調査)

	1 学年 在籍 407			2 学年 在籍 470			3 学年 在籍 411			
	大学	短大	専門	大学	短大	専門	大学	短大	専門	
文 系	文・外国語	13	0	1	19	2	2	23	1	3
	商・経	27	5	1	18	3	5	26	8	5
	法・社会	5	1	0	10	0	1	7	0	2
	体・教育	13	1	0	8	0	2	17	0	1
	福祉	2	1	3	1	0	5	5	5	5
	芸術	7	1	11	6	1	6	2	1	5
	家政	2	1	1	4	1	3	2	0	2
	保育	5	11	10	9	16	2	3	18	2
	心理	6	0	0	9	1	0	6	1	1
	理容・美容	0	2	20	0	5	15	0	6	17
	医療事務	3	1	6	7	10	4	1	8	7
	その他	2	2	10	4	4	16	6	8	24
	未定	41	2	9	43	16	12	12	6	12
	理 系	理学	6	0	0	1	1	0	4	0
工学		13	0	8	17	0	3	13	0	1
農学		2	0	0	1	1	1	0	0	0
医学・歯学		12	0	0	4	0	1	4	0	0
医療		2	0	2	6	0	2	7	0	6
看護		10	1	3	13	0	11	11	1	10
動物		5	0	5	3	0	3	0	0	4
その他		3	1	2	13	0	3	6	2	7
未定		15	2	1	12	1	3	6	0	3
未定		38	3	3	26	2	12	5	2	2
合計	232	35	96	234	64	112	166	67	119	

1 年 進学 363 就職 44 2 年 進学 410 就職 60 3 年 進学 352 就職 59

(3) 入学試験 各大学短大専門学校の合否資料については進路資料を参照のこと。

- A. 推薦入試 出願条件を満たした生徒が高校からの推薦を得て出願する。
 指定校推薦 (大学 117 校 短大 49 校 進路資料 7 月上旬配布の指定校一覧冊子)
 大学等が指定した高校に基準や指定枠等を提示して募集する推薦。出願できれば合格の可能性は極めて高い。
 公募制推薦 条件を満たしていれば、どの高校の生徒も出願できる入試
 一部人数制限のある大学あり 群馬大学教育学部各専攻各校 1 名等
 ※出席状況には十分留意し全科目について評定平均値を高める努力が必要
- B. 一般入試 各大学・学部により入試科目を設定して、合否を判定する。
 入試得点が重視されるので、入試科目で高得点を取れる実力が
 必要
 <大学入試センター試験>
 国公立大学受験者は必修であるが、9 割以上の私大がセンター試験利用
 入試を実施。4 年制大学受験者はほぼ全員が受験してほしい。
 国公立の試験科目は、5 教科 7 科目に増加
 科目構成例 文系 (英 1、国 1、社 2、数 2、理 1) 等
 理系 (英 1、国 1、社 1、数 2、理 2) 等
 “入試科目を意識した学習を”
- C. A.O 入試 大学 (短大) で何を学びたいかを大学側と相談し、受験生と大学
 側の条件が一致した場合、出願し選考される。エントリーの早い
 学校も多い。

- 聖徳大学 (1) 明海大学 (1)
- 千葉商科大学 (1) 青森大学 (1)
- 尚美学園大学 (2) 国際
- 武道大学 (1) 東京成徳大学 (1)
- 日本体育大学 (1) 東京
- 女子体育大学 (1) 東京国際大
- 東京医療保健大学 (1)
- 新潟医療福祉大学 (1) 足尾学
- 園音楽大学 (1) 京都ノートル
- ダム女子大学 (1) 平成国際大
- 文星芸術大学 (1) 埼
- 共愛学園前橋
- 東京福祉大学 (3)
- 高崎健康福祉大学 (3)
- 群馬パース大学 (7)
- 群馬医療福祉大学 (7)
- 高崎商科大学 (19) 他
- ▼主な合格短期大学
- 高崎商科大学短期大学部 (50)
- 育英短期大学 (10) 新島学園短
- 期大学 (1) 明和学園短期大学
- 期大学 (3) 他
- 立教女学院短期大学
- 上田女子短期大学 (1) 埼玉女
- 子短期大学 (3) 他
- (進路指導主事 牧口一男)
- (1) 國學院大学栃木短期大学
- (1) 大妻女子大学短期大学部
- (1) 亜細亜大学短期大学部
- (1) 目白大学短期大学部 (1)

【就職状況】

今春卒業予定で、就職を予定している高校生の就職内定率は、前年同期より2.3ポイント増の60.9%（文部科学省の調査・一二月十四日付の上毛新聞）と好転している。とはいっても、高校生を巡る就職環境は、昨年同様、全国的にとっても厳しい。

群馬県では十一月に高校生を対象にした企業面接会が開催され、多くの高校生が集まった。本校においては、高崎公共職業安定所のご協力もあり、例年とあまり変わらない数値になりそうであるが、この原稿を書いている現在も、求職活動をしている者もいる。なにはともあれ、就職希望者は早い段階から職業意識を形成し、しっかりと準備することが大切であろう。

自分に合った職種をさがし、さらに具体的な会社を選び出すことは、決して簡単なことではない。しかも、それを、決められた時間内に決断しなければならないのである。

群馬県では、高校生の就職の選考は一人一社制で、九月中旬から始まる。今年度も、この時期に応

募した者が中心であった。十月の中旬以降は一人三社までの推薦・応募が可能となり、そういう生徒が増えつつある。もちろん、どんな状況でも、生徒本人の希望がしっかりとっていないといけない。と同時に、受験準備を充分にする必要がある。本校では、模擬面接等を職業指導主事である私が担当している。そこでのアドバイスを是非生かしてほしい。

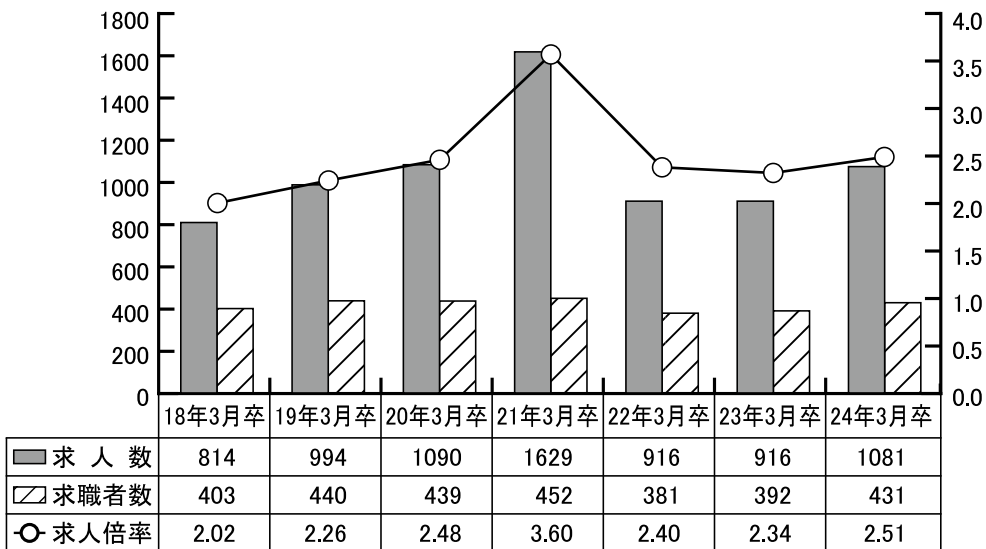
最後に、いつものことだが、少し付け加えておきたい。企業に採用されるためには、改めて、言葉づかいや身だしなみを注意してほしい。

また、企業が一番に求めている「コミュニケーション能力」も、決して特別なものではない。本校の校訓「親愛・礼節・整美」をぜひ実践してほしい。

（職業指導主事 愛敬浩一）



求人数・求職者数・求人倍率の推移



生徒指導部より

「おてんとうさまが
みている」

今年度から生徒指導主事となり、
間もなく一年がたとうとしていま
す。この間を振り返り印象に残つ
た事について振り返ってみたいと
思います。

まず第一に制服をきちんと着て
欲しいと思います。AKB48の
渡辺麻友の3rdシングルの特典
DVD「まゆゆ制服コレクション」
に本校の制服が群馬県代表として
採用されました。担当者の方から
校則のスカート丈の基準の確認が
あり、映像の方はその基準で撮影
されています。皆さんご覧になつ
てどうでしょう。実にきちんとし
た美しい着こなしになっています。
特に女子はスカートの丈を短くし
たがる傾向が見られます。校内に
も幾つかポスターが貼つてありま
すので、ぜひ美しい着こなしを見
習って下さい。男子もズボンの裾
を引きずるようなことの無いよう
にしてほしいものです。

次に、通学時の音楽プレーヤー
の使用については禁止しています。
周りの音が遮られることの危険性

について考えてみて下さい。車から
身を守るだけでなく、加害者にな
ることもありうるのです。県内で高
校生の自転車と衝突し、相
手の方が亡くなったり、重症になつ
た大きな事故も報告されています。
歩行者であっても、後ろから不審
者の接近に気付かず、危険な目に
あつたという事件もありました。

また、自分に非があり、周りの
大人の方から注意を受けることも
あるかと思えます。親や教師でも
ない一般の方が親切に注意をして
くれるのは、よっぽどの事だと思
います。にもかかわらず、素直に
受け取るどころか暴言を吐くよう
な事はあつてはならないことです。

法律違反はもつてのほかですが、
世の中のルールやマナー、校則は
守る必要があつて存在しています。
一時の迷いや、軽率な行動がその
後の人生までも大きく変えてしま
うことがあります。「おてんとう
さまが見ている。」と昔からよく
言います。人はごまかせても、お
天道様と自分自身はごまかせない
ものです。自分に恥じない道を、
太陽の元、堂々と歩んでほしいと
思います。本校生徒ならきつとで
きると、信じています。

(生徒指導主事 田沼稔夫)

平成24年度 父母の会行事予定

月	日	曜日	事業内容(会場等)	月	日	曜日	事業内容(会場等)
4	10	火	入学式(群馬音楽センター)	10	24	水	県中高保護者会連合会理事会・ 学校見学会(常磐高校)
5	11	金	本部役員会	11	23	祝	後援会・同窓会合同研修旅行 (スカイツリー、東京湾クルーズ)
	19	土	平成24年度総会・本部役員引継ぎ会 (暢神荘)		30	金	県高P連指導者研究集会 (前橋テルサ)
	29	火	県私立中学高等学校保護者会連合 会総会(ラシーネ)	12	4	火	私学振興全国大会(日比谷公会堂) 衆議院解散の為延期
6	1	金	高崎地区PTA会長及び管理職歓 送迎会(エテルナ高崎)	1	18	金	後援会・同窓会役員合同新年会 (ヴィラデマリアーヂュ)
	8・9	金・土	県高P連総会 (一泊:伊香保 ホテル「天坊」)		25	金	平成24年度群馬県私学振興大会 (ラシーネ)
	24	日	3年学年学級懇談会・反省会	2	8	金	3年学年学級役員反省会 (ヴィラデマリアーヂュ)
7	1	日	2年学年学級懇談会・反省会		15	金	県中高保護者会連合会理事会・ 学校見学会(関学大附高校)
8	8	日	1年学年学級懇談会・反省会	3	1	金	第64回卒業式(群馬音楽センター)
	17	金	後援会合同夏季懇親会 (ヴィラデマリアーヂュ)		15	金	1・2年学年学級役員合同反省会 (ヴィラデマリアーヂュ予定)
10	18	木	西毛地区高P連指導者研究集会 (ニューサンピア)				
	20・21	土・日	ホームカミングデイ(商大附高祭)				

平成23年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

平成23年度決算につきましては、平成24年5月29日開催の理事会にて承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き「正常状態」に位置しており、財政基盤は安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の充実に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

平成23年度の資金収支状況について、収入は合計で4,441,910千円となり、手数料収入、寄付金収入、補助金収入及び資産運用収入で増加したものの、学生

生徒等納付金収入、事業収入、雑収入等が減少したことで、予算に対しては61,280千円の減収となりました。

一方、支出は人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等が減少したため、次年度繰越支払資金は予算に対し43,796千円増加し、2,060,474千円となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,554,831,000	1,548,348,810	6,482,190
手数料収入	50,090,440	50,668,790	△ 578,350
寄附金収入	11,885,000	16,928,268	△ 5,043,268
補助金収入	518,128,433	519,684,483	△ 1,556,050
資産運用収入	21,200,000	21,426,274	△ 226,274
資産売却差額	10,656,000	10,656,000	0
事業収入	10,363,500	10,179,858	183,642
雑収入	61,465,248	60,853,777	611,471
前受金収入	270,411,750	226,722,750	43,689,000
その他の収入	204,474,236	200,649,251	3,824,985
資金収入調整勘定	△ 323,164,748	△ 337,057,344	13,892,596
前年度繰越支払資金	2,112,849,419	2,112,849,419	
収入の部 合 計	4,503,190,278	4,441,910,336	61,279,942
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,220,733,956	1,213,553,263	7,180,693
教育研究経費支出	436,364,036	422,550,160	13,813,876
管理経費支出	162,784,108	143,431,085	19,353,023
借入金等利息支出	4,997,094	4,997,094	0
借入金等返済支出	37,125,318	37,125,318	0
施設関係支出	111,425,703	101,124,703	10,301,000
設備関係支出	72,430,212	69,131,120	3,299,092
資産運用支出	352,270,000	352,270,000	0
その他の支出	47,525,136	46,698,895	826,241
〔予備費〕	43,827,428		43,827,428
資金支出調整勘定	△ 2,970,619	△ 9,445,246	6,474,627
次年度繰越支払資金	2,016,677,906	2,060,473,944	△ 43,796,038
支出の部 合 計	4,503,190,278	4,441,910,336	61,279,942

②消費収支計算書の状況

消費収支計算書は、その年度の授業料や寄付金等、負債とならない収入（帰属収入）から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と減価償却額や資産処分差額等を含む、その年度に消費する支出（消費支出）との均衡状態を明らかにし、これにより経営状況を把握するための書類です。（企業会計の損益計算書に類似していますが、基本金組入額を控除する点が大きく異なります。）

平成23年度の帰属収入合計は、予算に対して601千円増の2,243,835千円となりました。また、基本金組入額は、予算に対し23,660千円減の192,936千円とな

りました。この結果、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、予算比24,261千円増の2,050,899千円となりました。

これに対して消費支出は、予算に対し43,984千円減の1,967,865千円となりました。

これらの結果、平成23年度の消費収支差額（＝消費収入－消費支出）は、83,034千円の収入超過となり、前年度繰越消費収入超過額の263,812千円を加えた翌年度繰越消費収入超過額は、346,846千円となりました。

消費収支計算書

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,554,831,000	1,548,348,810	6,482,190
手数料	50,090,440	50,668,790	△ 578,350
寄附金	12,985,000	17,846,222	△ 4,861,222
補助金	518,128,433	519,684,483	△ 1,556,050
資産運用収入	21,200,000	21,426,274	△ 226,274
資産売却差額	0	656,000	△ 656,000
事業収入	10,363,500	10,179,858	183,642
雑収入	75,636,243	75,024,772	611,471
帰属収入合計	2,243,234,616	2,243,835,209	△ 600,593
基本金組入額	△216,596,525	△192,936,031	△ 23,660,494
消費収入の部合計	2,026,638,091	2,050,899,178	△ 24,261,087
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,237,871,141	1,230,690,448	7,180,693
教育研究経費	583,543,501	570,164,954	13,378,547
管理経費	170,814,108	151,144,524	19,669,584
借入金等利息	4,997,094	4,997,094	0
資産処分差額	534,398	534,398	0
徴収不能額 〔予備費〕	10,333,700	10,333,700	0
	3,754,865		3,754,865
消費支出の部合計	2,011,848,807	1,967,865,118	43,983,689
当年度消費収入超過額	14,789,284	83,034,060	
前年度繰越消費収入超過額	263,811,681	263,811,681	
翌年度繰越消費収入超過額	278,600,965	346,845,741	

③貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び消費収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。平成23年度末の資産総額は、9,542,164千円で前年度末に比べ193,495千円増加しました。また、負債総額は、676,590千円で前年度末に比べ82,475千円減少しました。

資産の部は、有形固定資産が1,750千円の増加、その他の固定資産が208,883千円増加し、固定資産全体では7,396,047千円となり前年度に比べ210,632千円増加しました。また、流動資産は2,146,118千円で前年度に比べ17,137千円減少しました。

負債の部は、固定負債が366,423千円で前年度に比べ26,299千円の減少、流動負債は310,167千円で前年度に比べ56,176千円減少しました。

基本金の部は、合計で8,518,729千円となり、前年度に比べ192,936千円増加しました。これらの結果、消費収支差額は前年度に比べ83,034千円増加し、翌年度繰越消費収入超過額は346,846千円となりました。

なお、資産総額から負債総額を差し引いた正味資産は8,865,575千円で、前年度に比べ275,970千円増加しました。

貸借対照表

(単位：円)

資産の部		本年度末	前年度末	増 減
科 目				
固定資産		7,396,046,739	7,185,414,322	210,632,417
有形固定資産		5,951,488,468	5,949,738,597	1,749,871
土地		2,470,350,469	2,470,350,469	0
建物		2,709,011,732	2,777,990,306	△ 68,978,574
建物附属設備		104,205,335	116,226,582	△ 12,021,247
構築物		201,351,068	120,537,115	80,813,953
教育研究用機器備品		112,119,413	110,765,708	1,353,705
その他の機器備品		6,947,696	8,792,169	△ 1,844,473
図書		333,481,917	329,209,976	4,271,941
車輛		7,175,838	1,214,942	5,960,896
建設仮勘定		6,845,000	14,651,330	△ 7,806,330
その他の固定資産		1,444,548,271	1,235,675,725	208,882,546
有価証券		1,197,487,000	1,007,487,000	190,000,000
退職金引当預金		147,000,000	147,000,000	0
第3号基本金引当資金		48,936,631	47,936,631	1,000,000
特定支出引当特定預金		21,000,000	16,730,000	4,270,000
その他		30,134,640	16,522,094	13,612,546
流動資産		2,146,117,518	2,163,254,866	△ 17,137,348
現金・預金		2,060,473,944	2,112,849,419	△ 52,375,475
その他		85,643,574	50,405,447	35,238,127
資産の部 合計		9,542,164,257	9,348,669,188	193,495,069
負債の部				
科 目		本年度末	前年度末	増 減
固定負債		366,422,730	392,722,160	△ 26,299,430
長期借入金		249,930,000	277,700,000	△ 27,770,000
退職給与引当金		114,623,205	111,657,015	2,966,190
長期未払金		1,869,525	3,365,145	△ 1,495,620
流動負債		310,166,878	366,342,470	△ 56,175,592
短期借入金		27,770,000	37,125,318	△ 9,355,318
前受金		226,722,750	275,178,500	△ 48,455,750
その他		55,674,128	54,038,652	1,635,476
負債の部 合計		676,589,608	759,064,630	△ 82,475,022
基本金の部				
科 目		本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金		8,326,792,277	8,135,856,246	190,936,031
第3号基本金		48,936,631	47,936,631	1,000,000
第4号基本金		143,000,000	142,000,000	1,000,000
基本金の部 合計		8,518,728,908	8,325,792,877	192,936,031
消費収支差額の部				
科 目		本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額		346,845,741	263,811,681	83,034,060
消費収支差額の部 合計		346,845,741	263,811,681	83,034,060
科 目		本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部、及び消費収支差額の部合計		9,542,164,257	9,348,669,188	193,495,069

編集後記

昨年の世相を表す漢字は「金」でした。「金」に関する天文現象として、「金環日食」が九百三十二年ぶりに日本の広範囲で観測されたり、二十一世記最後となる「金星」が太陽面を通過したり、「金星食」も観測されたりしました。また東京スカイツリーが世界一の電波塔として開業したり、ロンドンオリンピックで日本は金メダルを含む史上最多の三十八個のメダルを獲得したり、レスリングの吉田選手は国民栄誉賞を受賞し、「金色の真珠のネットワーク」が贈呈されたり、さらには、京大の山中教授が、iPS細胞の研究でノーベル医学生理学賞を受賞する等、「金メダル」に匹敵する出来事がありました。

さて本校に関連する「金星」は、卒業生の石田瑞穂選手でしょうか。オリンピックでは補佐役として帯同し、チームのサポートに当たっていました。開会式の日には母親が危篤状態であったとの知らせを受けて帰国。女子バレーは銅メダルを獲得しましたが、友人の迫田選手からは、準々決勝からの三試合、石田選手のユニフォームを自分のユニフォームの下に重ね着して試合に臨んでいたという美談が語られました。また石田選手は天皇杯皇后杯では久光スプリングスのメンバーとして、準決勝、決勝で大活躍し優勝を引き寄せました。また、別の「金星」としては、AKBの渡辺麻友さんが、CD発売に関連して、本校の制服を着用する企画がありました。県代表に選ばれた制服です。堂々と胸を張って、きちんと着用してもらいたいです。

今年も巳年。蛇のように脱皮を重ね、立派に成長してゆける年でありたいものです。最後に父母の会会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、編集後記にかえさせていただきます。(高橋 淳)

2学期以降県外大会出場(予定)部活動・結果報告



クラブ名	大会名	期日	成績
アーチェリー部	平成24年度関東高等学校アーチェリー選抜大会(群馬)	11/10~11	女子個人 優勝 F2-8 遠間あずさ、10位 F2-5 長壁千笑、11位 F2-5 武井智恵、16位 F2-9 荒井彩香、18位 F2-5 宮下真紀、28位 S2-3 高麗ひかる、32位 F2-8 田村彩、39位 F2-2 永井彩香、40位 K3-2 小川千絵 男子個人 10位 F2-2 石田拓実、12位 F3-3 榊原優、36位 F2-4 柴山太基、37位 F3-3 一場広夢
	平成24年度全国高等学校アーチェリー選抜大会(静岡) 出場予定	3/26~28	女子個人 F2-8 遠間あずさ、F2-5 長壁千笑 男子個人 F2-2 石田拓実
空手道部	平成24年度全国高等学校空手道選手権大会(青森)	7/29~8/1	女子団体 2回戦敗退 J3-1 大谷津麻里、竹田楓、F3-4 比企麻里奈、金井志桜里、F3-8 大野菜摘、F2-6 川村真生、F2-7 白根伽奈 女子個人組手 1回戦 J3-1 大谷津、3回戦 F3-4 比企 女子個人形 3回戦 F3-4 比企、F3-8 大野 男子団体 1回戦敗退 F3-3 宮本亮、稲見研人、F3-4 井上将貴、F3-6 金子拓也、F3-7 高瀬駿斗、J3-1 一場隼、F2-10 小峯仁志 男子個人組手 Best16 F3-3 宮本、1回戦 F3-7 高瀬
	国民体育大会(岐阜)	10/6~8	男子個人組手 5位 F3-3 宮本亮 女子組手 出場 J3-1 大谷津
	全日本選手権大会	12/7・8	団体組手 出場 F3-3 宮本、J3-1 大谷津
フェンシング部	平成24年度全日本フェンシング選手権大会 個人戦(東京)	9/6~9	女子フルレール 51位 F3-4 設楽ゆりあ 女子サーブル 73位 F3-4 設楽ゆりあ、83位 F2-10 高橋伊吹
	平成24年度国民体育大会(岐阜)	10/5~7	少年女子 2回戦敗退 F3-4 設楽ゆりあ、F2-8 小林亜美
	平成24年度全日本フェンシング選手権大会 団体戦(東京)	12/13~15	女子フルレール団体 1回戦敗退 F2-8 小林亜美、F2-10 高橋伊吹、F2-11 樺沢有紗、F2-11 芹澤真由 女子サーブル団体 1回戦敗退 F3-4 設楽ゆりあ、F2-10 高橋伊吹、F2-11 樺沢有紗、F1-6 新井はるか
	JOCジュニアオリンピックカップ(東京)	1/11~14	カデ男子フルレール 52位 F2-7 中島雅雄 カデ男子エペ 24位 F1-6 久保田棕也 カデ女子フルレール 29位 F2-8 小林亜美 カデ女子サーブル 34位 F1-6 新井はるか
	平成24年度関東高等学校選抜フェンシング大会	1/26~27	女子学校対抗(小林・高橋・樺沢・芹澤・新井)
バレーボール部	平成25年度全国私立高等学校バレーボール選手権大会(東京都)	4/1~3	F2-6 佐藤愛、竹内望美、F2-8 浦澤いづみ、小林ちこ、柴崎幸映、F2-9 金井美憂、高橋桃子、F2-10 関詩織、S2-3 萩原里紗、F1-6 新井都花彩、木暮絵里奈、櫻井彩、星野会美、F1-7 久保友理瑛、星野早紀、宮下奈那美、森遥香、F1-8 石川和加奈、設楽麻衣花、下城実沙季、F1-8 吉野瑞季、F1-9 阿久津友理、飯島有咲、小林莉緒、篠原沙耶香、高山桃子、S1-1 小林萌子
ペーパーアート部	第47回マーチングバンド・パトントワーリング関東大会(埼玉)	10/28	カラーガード部門 金賞 参加者 K3-2 笠原直緒、F3-5 染谷亜希、F3-3 新井瑞穂、富岡涼、F3-6 磯貝晴夏、F3-7 山口瑞緒、F3-8 秋山沙紀、黒澤輝、F3-9 新井理恵、設楽このみ、J3-1 新井瞳、大川舞子、上愛、F2-6 吉田莉紗、S2-2 松沢玲奈、S2-3 木暮梨奈、F1-7 小島有加、F1-9 中村綾那、S1-1 殿村優花、中田彩、S1-2 富所冴英、内藤佳奈、中嶋未来、三浦彩子
	第40回記念マーチングバンド、カラーガード全国大会(埼玉)	12/15	カラーガード部門 銀賞 参加者 上記同様
パトントワーリング部	第47回マーチング・パトントワーリング関東大会	10/27	パトントワーリング部門 銀賞 K3-1 小坂橋かおり、J3-1 茂木香恵、F3-6 倉澤幸輔、富沢南美、F3-5 木村有沙、F3-8 佐藤美咲、K3-1 嶋澤菜摘、F2-7 小峯菜穂、F2-10 大橋友梨、S2-1 神原由多嘉、佐藤美咲、S2-2 染谷夏未、森田成美、山本優香、S2-3 佐藤桃花、F1-4 関口純代、F1-7 中澤里緒、F1-8 本多望早希、F1-10 片岡もえ
放送部	第59回NHK杯高校放送コンテスト全国大会(東京)	7/23~25	テレビドキュメンタリー部門 F3-4 高橋美咲、J3-1 宮代夏実、K3-1 櫻井香織 ラジオドキュメンタリー部門 F2-2 清口 唯菜、F2-7 柴山優記奈、F2-7 武井颯季、F2-9 津久井愛美、F2-11 内島由妃、S2-3 野口菜
	第36回富士総文放送コンクール全国大会	8/10~13	ビデオメット ーシ部門 F3-4 高橋美咲、J3-1 宮代夏実、K3-1 櫻井香織 オーディオビクター部門 F2-2 清口 唯菜、S2-3 野口菜
囲碁部	第28回関東地区高等学校囲碁選手権大会(千葉)	1/19~20	女子団体戦 女子個人戦 出場 F2-4 芦田美幸、F2-1 五十嵐のぞみ、F2-1 舩田和